



(1) ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）

法政大学は、従来の「グローバル戦略本部」と「ダイバーシティ推進委員会」を発展的に統合し、新たに「グローバリティ・ダイバーシティ推進本部」を設置。同時に「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）」を2024年4月、市ヶ谷キャンパスに開設した。性別・性自認・性的指向に関する個別相談への対応、男女共同参画の推進など、幅広い支援に取り組んでいる。

(2) サティフィケートプログラム

現代社会の課題を学際的な観点で考察し、実践知の形成につなげることを目的とした内容となっており、以下の5つのプログラムから構成される。

▽SDGsサティフィケートプログラム

▽アーバンデザインサティフィケートプログラム（文理融合プログラム）

▽ダイバーシティサティフィケートプログラム

▽未来教室サティフィケートプログラム（学生発案プログラム）

▽カーボンニュートラル推進リーダー育成プログラム

(3) ピアネット

法政大学では、学生の視点を活かして、学生同士が支え合う「ピア（Peer：仲間）サポート」活動を積極的に展開してきた。それを発展させ、学生が主体的に学生を支援する組織として設立されたのが「ピアネット」である。学生スタッフが自主的に運営し、課外教養プログラムやボランティアセンターでの活動など、多彩な取り組みを行っている。



た、Gラウンジで留学生と日本人学生が交流できます」（コー総長）

**多彩な学問領域にわたり
先端的研究と人材を輩出**

法政大学には幅広い分野にわたる付属研究所があり、多くの成果を上げています。法科大学院の高須順一教授が最高裁判所判事に任命され、今年3月末に就任するという慶事もありました。

特筆すべきは理系分野の充実です。理系学部でも多くの学生が学んでおり、AIをはじめとする高度情報分野や生命科学、精密テクノロジー分野で活躍できる優れた人材を数多く輩出しています。今年4月には、植物医科学センターを発展させて植物医科学研究センターに改称し、大学の附置研究所として新たに設置しました。

また、最近ではQRコードを発明した原昌宏氏が学士院賞を受賞し、法政大学からも名誉博士号を授与されました。さらに、副学長の澤柿教伸教授（専門：氷河地質学）はこれ

法政コミュニティを 一緒に築いていこう

法政大学では、約2万9000人の学生が市ヶ谷・多摩・小金井の3キャンパスで充実したキャンパスライフを送っています。各種奨学金をはじめとする経済的支援に加え、人種・性別・宗教などあらゆる境界を越えて「だれ一人取り残さない」サポートを展開。学生が学生を支援す



市ヶ谷キャンパス中央広場



Diana Khor（ダイアナ・コー）総長

1983年香港大学社会科学卒業。94年スタンフォード大学大学院社会学研究科博士課程修了(Ph.D.)。専攻は社会学、ジェンダー・セクシュアリティ。99年 法政大学第一教養部専任講師。08年同大グローバル教養学部教授。21年同大グローバル教育センター長。同大副学長・常務理事を経て25年より現職。

法政大学は1880（明治13）年、3人の若き法律家によって創設された「東京法学社」を前身とする、日本最古級の私立法律専門学校です。日本で初めてキャリアデザイン学部を設置し、また私立大学として初めて社会学部を開設するなど、「自由と進歩」の精神のもと改革を重ねてきました。現在は15学部38学科を擁する国内有数の総合大学へと発展しています。

2025年4月には、外国籍として初めて、女性としては2人目となるダイアナ・コー総長が就任しました。2030年には創立150周年を迎えますが、さらにその先を見据えた「キャンパスグランドデザイン」を公表。グローバル化とダイバーシティを一層推進し、多様な背景を持つ学生や教職員を受け入れ、「自由を生き抜く実践知」を世界に広げる挑戦を続けています。

法政大学

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 入学センター TEL 03-3264-9300 <https://nyushi.hosei.ac.jp/>

2030年以降を見据え より包摂的な大学を目指す

法政大学は、開学150周年を迎える2030年以降も教育・研究・社会貢献を継続的に展開するため、今年5月に「キャンパスグランドデザイン」を策定・公表しました。大学進学者数がおおむね予測可能な2040年代半ばまでを見据え、その基盤となる構想を定めています。現代の教育環境を取り巻く多様な課題に対応するため、法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」を体现できるキャンパスを目指し、具体的に施設整備方針を示したもので、「教育研究環境基盤構想」と「施設整備・更新計画」の二部構成になっています。

今年3月、総長に就任したダイアナ・コー総長は、「法政大学は、建学の精神である『自由と進歩』の下、多くの改革を実行してきました。2016年に法政大学ダイバーシティ宣言を発表し、2024年にはダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセン

ター）^①を設置するなど、多様性の推進に積極的に取り組んでいます。グローバル化やダイバーシティをさらに加速させるとともに、それらと密接に関連するSDGsの活動を進め、より包摂的な大学へと進化することを目指します。多様な背景やルーツを持つ学生が安心して学べる環境づくりが使命だと思います」と語ります。

法政大学は、2014年に文部科学省のスーパースクール大学創成支援事業（SGU）に採択され、グローバル化への取り組みを着実に進めてきました。

「法政大学にとつてのグローバル化とは、学生のグローバルマインドセットを育むことです。本学ではこれまで、留学生の受け入れや日本人学生の派遣、教職員の多様化、グローバルに活躍できる語学力の習得、学生の国際的な活動への参加などを推進してきました。法政大学憲章や本学のミッション・ビジョンで伝えている『社会の課題解決につながる実践知』や『持続可能な地球社会の構築に貢献する』という理念は、まさにグローバルマインドセットの涵養につながるものです」（コー総長）

全学横断の多様な学びと 充実のグローバル教育

法政大学は、法学部や経済学部、文学部といった伝統的な学部に加え、近年ではキャリアデザイン学部や生命科学部、GIS（グローバル教養

学部）、スポーツ健康学部など、先端的な学部を次々と開設してきました。こうした学部を横断する多様な学びが大きな特徴です。

全学共通教育プラットフォーム科目は、複雑化・高度化する社会課題の解決に応えるために設けられたもので、社会連携教育科目、キャリア教育科目、データサイエンス科目の3領域と、文理融合の学際的テーマに基づいて実施する海外フィールドスクールで構成されています。他学部公開科目では、多くの学部が専門教育科目の一部を公開しており、その数は740科目にのびります。また、成績優秀者を対象とした他学部科目履修制度も整えています。

さらに、法政大学ならではのユニークな取り組みがサティフィケートプログラム^②です。所属学部・学科のカリキュラムだけでは得られない他分野の知識を、体系的に学ぶことを目的に設けられています。

グローバル教育も充実しており、語学力を高め、異文化体験を積み重ねながら段階的に成長できるカリキュラムを用意。英語で開講される科目は830科目にのぼり、短期語学研修制度や多彩な留学制度に加え、国際ボランティアや国際インターンシップの機会も提供しています。

「語学力を身につけるだけではなく、国や民族の境界や垣根を超えて相互理解を深めることで、地球規模の問題解決力を養います。留学をしなくても、キャンパス内に設置され

る「ピアネット」^③活動も、法政大学ならではの特色です。

サークルやクラブ活動も活発で、野球やアメリカンフットボール、サッカーなどの人気競技で優れた成績を収めているほか、フェンシングを始めとする女子選手の活躍など、オリンピックや国際大会でも輝かしい記録を達成し、「スポーツの法政」の名を広く知らしめています。施設面でも、全館合わせて171万冊の蔵書を誇る図書館や、4つの専用寮など、学びを支える環境が整っています。

コー総長は「法政大学らしさとは自由な発想や世間の常識にとらわれない姿勢、決まったキャリアパスに縛られないことにあります。まさに校歌で歌われている『進取の気象』です。こうした土壌で育った卒業生は、あらゆる分野で活躍しています。皆さんも在学中にぜひ法政らしさを発揮し、自分が置かれた環境の中で一歩前に踏み出してください。大学は新たなスタート地点です。法政大学は、あなたの挑戦を教職員一同が全力でサポートします。一緒に法政コミュニティを一段と活気づけ、盛り上げていきましょう」と、受験生に向けてエールを送っています。